

新温泉町には連綿と続く祭りや伝統芸能、貴重な文化遺産があります。これらは地域住民の手によって守られ、受け継がれてきたものであり、私たちのかけがえない財産です。

受け継がれる祭り、伝統芸能。

新温泉町の中でも特に大きな例祭りが、但馬三大祭の一つとして毎年7月に開催される川下祭りです。起源は江戸時代中期にさかのぼります。この祭りは当時、豊岡・京極藩の管轄であった浜坂が天領になったのを機に始められたと伝わり、京都の祇園祭の影響を色濃く受けているともいわれています。当日は、香美町から新温泉町、鳥取県東部にかけてのみに見られる全国的にも珍しい麒麟獅子舞が奉納されます。

また、町中を神輿や鉾、神など総勢300人が練り歩く神輿巡幸や、御旅所で奉納される浦安の舞などがあります。祭りのクライマックスには約3000発の海上打上げ花火が上がります。



川下祭り「麒麟獅子舞」



川下祭り「神輿巡幸」



川下祭り「浦安の舞」

夢人
コラム1



宇都野神社
麒麟獅子保存会
代表・渡邊啓介さん

保存会が発足したのは昭和45年5月のことです。以来、毎年7月に入ると、浜で獅子舞の練習をして川下祭りに備えます。平成12年には浜坂ロータリークラブから浜坂高等学校の「麒麟獅子サークル」に麒麟獅子の寄贈がありました。若い人たちが町の文化に興味を持ち継承してくれる事は非常にうれしいことです。私たちもできる限りの支援はしていきたいですね。これまで日本各地の催しはもちろん、中国や韓国でも獅子舞を披露してきました。これからは保存もさることながら技術の向上も大切です。平成19年4月からは県立歴史博物館(姫路市)に宇都野神社麒麟獅子を常設展示しています。経費の問題やPR方法などの課題を抱えていますが、今以上に住民に麒麟獅子を誇りに感じていただきたいと思っています。



久谷ざんざか踊り(県指定重要無形民俗文化財)



但馬久谷の菖蒲綱引(国指定重要無形民俗文化財)



丹土はねそ踊り(県指定重要無形民俗文化財)



海上傘踊り(町指定無形民俗文化財)



湯村の火祭り(町指定無形民俗文化財)



湯村の菖蒲綱引(町指定無形民俗文化財)

その他、シヨウブやヨモギ、ススキで編んだ綱を大人組と子ども組に分かれて引き合う但馬久谷の菖蒲綱引や、久谷八幡神社で奉納される久谷ざんざか踊り、戦国時代に田舎の豪氏が子郎党に教えた剣術に歌舞伎を取り入れた丹土はねそ踊りが、県の重要無形民俗文化財に指定されています。

また、江戸時代から伝わる雨乞い神事の海上傘踊りや、子どもたちの「ジロンポ、ターロンポ、麦の中のクローンポ」という囃しに合わせながら春來川が炎で照らされる湯村の火祭り、湯村温泉の開祖・慈覚大師を偲ぶ湯村の菖蒲綱引などが行われています。

これら数々の祭りや伝統芸能には、先人の五穀豊穡や無病息災、雨乞いなどの切なる願いが込められています。新温泉町では、その思いを受け継ぎながら各保存会が中心となって伝統芸能の保存、継承活動が行われています。

Our traditions, cultural heritage, festivals, and performing arts have been handed down in this area for generations. These traditions are greatly treasured by the people of our community.